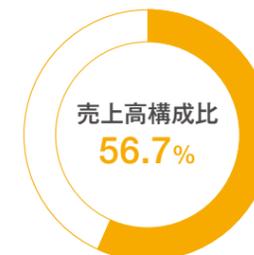


交通事業

さまざまな製品で安心・安全、そして快適な鉄道輸送を支えています

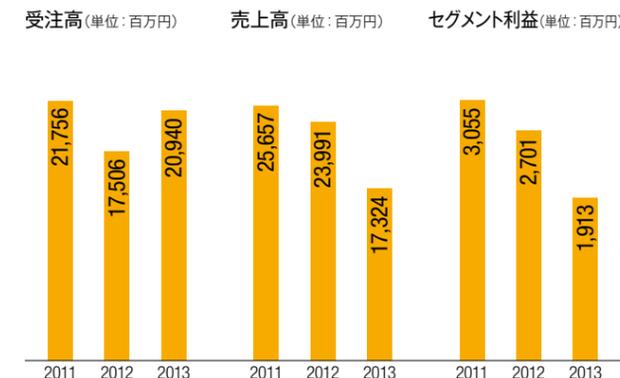
事業概要

当社は主制御装置(VVVFインバータ)や主電動機(モータ)、歯車装置、集電装置(パンタグラフ)などの鉄道車両用電機品の開発・製造を通じて、世界各国の鉄道の発展と安心・安全・快適な鉄道輸送に貢献しています。

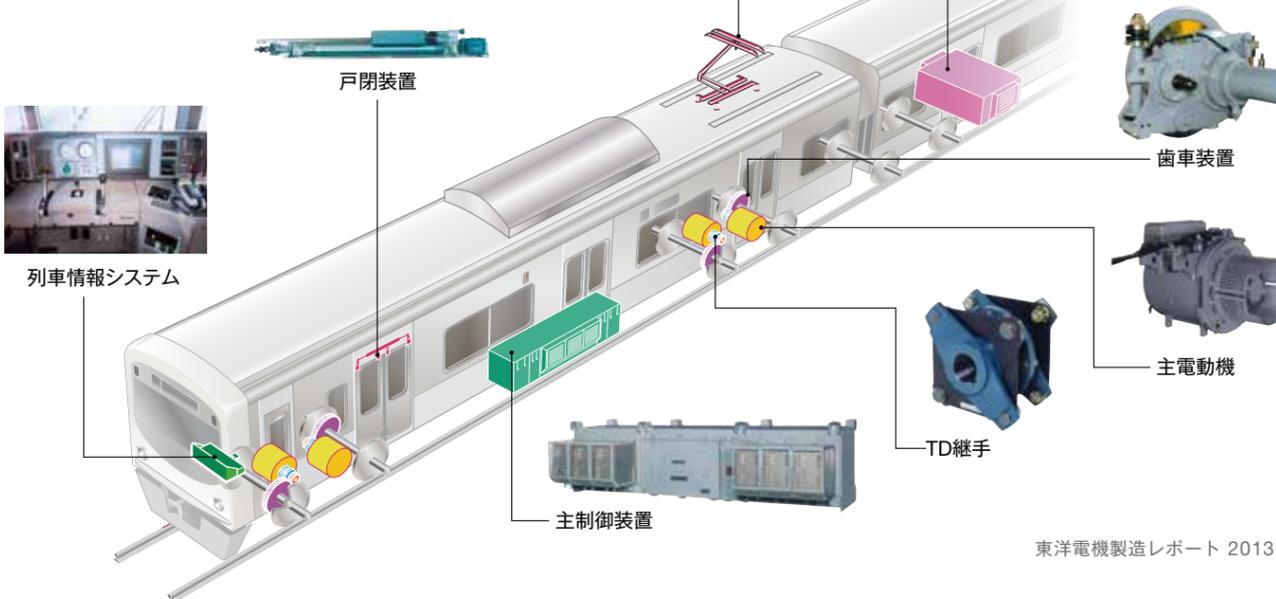
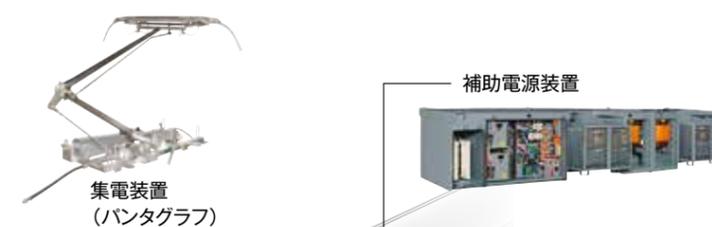


2013年5月期の業績について

- 受注高**
209億40百万円
 (前年比 19.6%増)
 国内向けは微増にとどまったものの、米国ロサンゼルス(LRV)向け電機品など海外向けが増加。
- 売上高**
173億24百万円
 (前年比 27.8%減)
 国内向けが更新需要一服で減少したに加え、中国の高速鉄道および地下鉄向けが大幅減少。
- セグメント利益**
19億13百万円
 (前年比 29.2%減)
 減収の影響により減少。



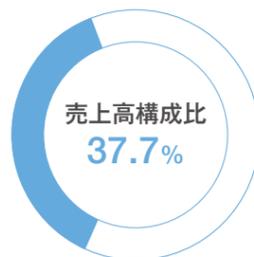
鉄道用電力貯蔵装置 E²ソリューションシステム
(東武鉄道株式会社へ納入)



先進のパワーエレクトロニクスが エネルギーの効率的利用を実現します

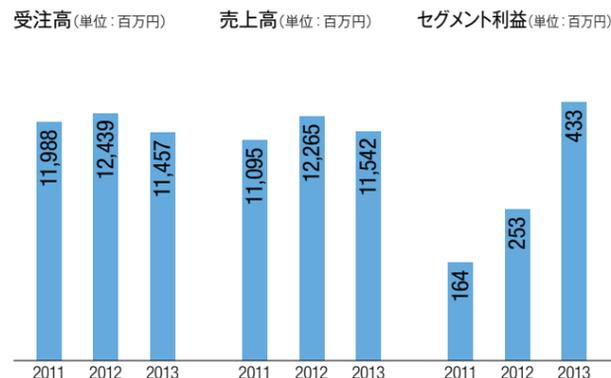
事業概要

当社は自動車開発用試験機、生産設備向けシステム、各種発電システムなどのさまざまな分野で、高度なモータードライブ技術を活用し、エネルギーの効率的利用の実現とお客様のニーズに対応した製品・システムを開発・製造しています。



2013年5月期の業績について

- 受注高 **114億57百万円**
(前年比 7.9%減)
自動車開発用試験機や発電機などのインフラ関連が好調だったものの、海外向けが大幅減少。
- 売上高 **115億42百万円**
(前年比 5.9%減)
受注と同様に自動車開発用試験機などが好調だったものの、生産設備向けや海外向けが減少。
- セグメント利益 **4億33百万円**
(前年比 71.1%増)
工場採算の改善を主因に増加。



- 自動車開発用試験機
- 生産設備向けシステム
- 印刷機向けシステム
- 各種発電システム
- 上下水道システム
- 電気推進船システム

業務効率向上に貢献する駅務機器と 遠隔監視システムを開発・製造しています

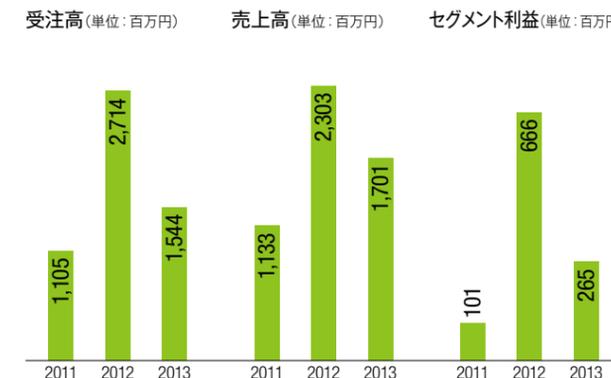
事業概要

当社は情報機器事業において、ICカードに対応した高度な「駅務機器」と、状態監視や位置監視、電力の見える化を実現する「遠隔監視システム」を開発・製造し、お客様の業務の効率化に貢献しています。



2013年5月期の業績について

- 受注高 **15億44百万円**
(前年比 43.1%減)
前年は国内鉄道事業者向け車掌用携帯端末増加があり、今期はその反動から減少。
- 売上高 **17億1百万円**
(前年比 26.2%減)
受注と同様の理由で減少。
- セグメント利益 **2億65百万円**
(前年比 60.2%減)
減収の影響に新製品開発費用負担が加わり大幅減少。



ハイブリッド建設機械とEV・HEV向け電気駆動システムを開発・製造しています

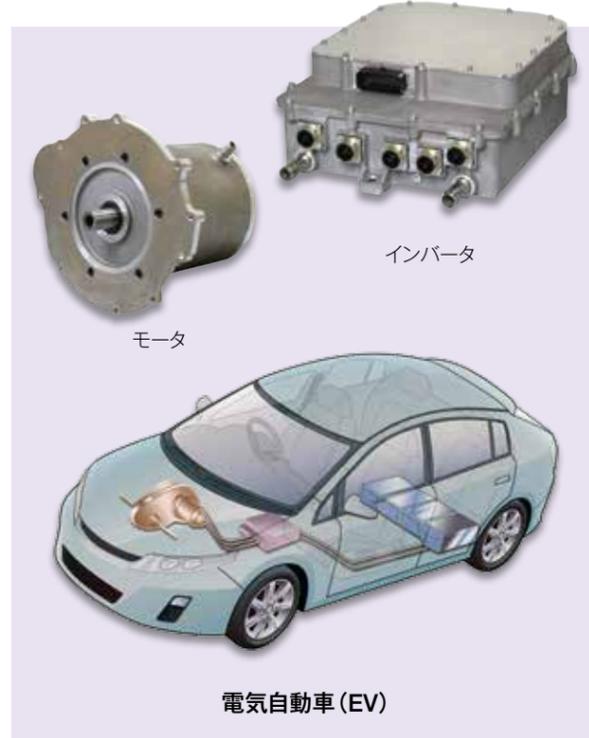
事業概要

当社は交通分野、産業分野に続く新たな事業の柱として、電気自動車(EV)やハイブリッド電気自動車(HEV)、建設機械の電動化に対応したモータやインバータなどの「車載用電機品」の開発・製造に取り組んでいます。

現在はその受注高、売上高、損益は産業事業のなかに含んでおりますが、中期経営計画「ダッシュ2015」の主要施策にも掲げたとおり、車載用電機品の量産体制を整え、建設機械のハイブリッド化需要を確実に取り込み、海外のEV市場への早期参入を果たすことで、当社の業容拡大の機動力としていきます。

ご参考：受注高と売上高について

当社の車載用電機品は、建設機械メーカーや自動車メーカー、産業機械メーカーなどから試作品の開発・設計を受注するところからビジネスがスタートします。その後、試作品のさまざまな試験を経て、量産化が決定すると、お客様から提示された量産化計画に則り、当社の産業用モータ、インバータ工場で製造します。ここではご参考までに過去3年間の受注高と売上高についてご紹介します。



鉄道と産業分野における技術革新をめざして

研究開発

当社の研究開発体制は、研究所ならびに各事業部の開発部門で構成されています。研究開発活動は、国内外のお客様に充分満足していただける製品を追求し、その創造と拡大にチャレンジすることを基本に、既存事業における技術開発およびそれを支える基礎技術開発、ならびに業容を拡大するための新製品開

発を積極的に行っています。

さらに、2013年4月には、営業、開発、設計などのメンバーによるプロジェクトチームを発足し、「新事業・新製品」のテーマを社内横断的に検討し、将来に向けてユニークな製品の実現化を目指しています。

● 2013年5月期の成果とトピックス

| 事業分野 | 名称 | 内容 |
|------|-------------------------|-----------------------------------|
| 交通 | 全閉型誘導主電動機 | メンテナンスの省力化に貢献する主電動機を実用化。 |
| | 列車情報制御システム | 富士電機と共同開発した次世代列車情報制御システムが完成。 |
| | 小型軽量制御装置 | ライトレール系車両向けの電源装置を完成。 |
| 産業 | 制御部分離型インバータ | 制御部とパワー部を分離したユニークなインバータを開発。 |
| | プログラマブルコントローラ(PLC)の高機能化 | PLCにCPU二重化による高信頼性とWEB通信機能を追加。 |
| | 自動車試験機用モータの拡充 | EV/HEV対応の超高速機などラインナップ拡充のため新機種を開発。 |
| 情報機器 | 空調計装システム(E-SAVE) | セントラル空調設備を対象としたエネルギー管理システムを開発。 |
| | 次期複合発行機(駅務機器) | 現行モデルより発券速度を高速化し、小型化・省エネルギー化を実現。 |

知的財産

当社は知的財産を現在、将来にわたる重要な経営資源として位置づけています。知的財産の管理は本社知財部門が統括し、特許や実用新案の出願については、研究所や各事業部の開発部門が積極的に推進しています。

また今後一層の事業拡大が予想される海外においても、当社の技術を保護するため、知財活動を積極化させていきます。

● 出願件数

